

令和3年度 第2回学校運営協議会の会議録

広島県立三原高等学校

本校の第2回学校運営協議会を次のとおり開催した。

開催日時	令和3年6月23日（水）	開催場所	校長室
出席委員	<p>人数：8人 委員氏名（所属・役職等） 船 倉 功（本校校長） 清 親 亮 介（全日制PTA会長） 須 賀 貞 徳（定時制教育振興会会長） 木 村 敏 夫（三原市教育委員会教育部長） 有 木 浩 城（三原市立第三中学校校長） 山 成 教 史（三原警察署生活安全課長） 舛 谷 明 倫（三原青年会議所理事長） 戸 野 法 史（本校同窓会長）</p>		
会議の概要	<p>1 会長挨拶</p> <p>2 議事</p> <p>(1)令和4年度教科書選定について ○全日制及び定時制における教科書選定の経緯と選定理由について説明を行い、了承された。</p> <p>(2)全日制授業参観 ○第1学年から第3学年までの授業参観を行った。</p> <p>(3)質疑・応答 ○校長から本校のGIGAスクールネットワーク、ICTの活用、新型コロナウイルスの影響及び新学習指導要領の準備状況を説明した。 委員からは、次の観点から意見等があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業においてタブレットの活用が進んでいる。教室では、楽しんで学べて学習意欲が高まる雰囲気がある。 ・タブレットを活用した指導ができる教員とそうでない教員の二極化が懸念される。現在は過渡期で、効果的な活用を模索していく必要がある。 ・ICTで学校が劇的に変化。教員の資質も一気に変わっていく。世界に通用する教育を目指すべき。 ・全国的に少年非行が低年齢化し減少傾向であるが、三原市内では倍増している。 		
次回開催予定日時	10月下旬		